

## 左胃動脈仮性動脈瘤の膵仮性嚢胞内破裂を合併し 胃内出血をきたしたアルコール性慢性膵炎の1例

なが み はる ひこ  
長 見 晴 彦

キーワード：アルコール性慢性膵炎，膵仮性嚢胞，  
左胃動脈仮性動脈瘤，胃内出血

### 要 旨

症例は42歳，男性。アルコール性慢性膵炎にて経過観察中に急に吐血し当院へ来院，大学病院へ救急搬送した。大学病院での緊急内視鏡検査では胃内は凝血塊で充満し，明らかな出血点は確認できなかったが出血は止まっていた。上腹部造影 Computed tomography (CT) 像を施行したが，胃内腔の血液貯留及びそれに接した膵仮性嚢胞内出血，左胃動脈仮性動脈瘤を認めた。従って本症例の吐血は左胃動脈仮性動脈瘤の膵仮性嚢胞内への穿破により仮性膵嚢胞内出血をきたし，さらにその嚢胞が前医で施行されていた経胃的膵嚢胞ドレナージ挿入部周辺の脆弱部な胃体部後壁へ穿通し胃内出血を合併したと推測された。本症例に対して診断，治療を兼ね腹部血管造影を行なったところ左胃動脈仮性動脈瘤を確認した。その後，左胃動脈仮性動脈瘤に対しマイクロカプセルとヒストアクリルリピオドールにより塞栓術を施行した。本患者は膵性疼痛が増強してきたため，膵仮性嚢胞切除を含む膵体尾部切除，左腹腔内神経叢切除を行った。慢性膵炎に仮性動脈瘤を合併する症例は稀ではないが左胃動脈仮性動脈瘤により膵仮性嚢胞内出血，さらに胃内出血を合併した症例は本邦では文献的上9例のみであり極めて稀な症例であった。

### はじめに

アルコール性慢性膵炎は臨床的に疼痛が強く，その治療にあたっては個々人の状態に合わせて決定されねばならない。完全かつ永続的な除痛を最

大の目的としながらも術後の膵内外分泌機能の維持が必要であり，術式選択には慎重を要する。

一方，慢性膵炎に合併した血管病変は慢性膵炎による acinar cell の壊死と膵管の破綻，活性化膵酵素の逸脱によって膵近傍の動脈壁が消化吸收された後に膵近傍の動脈壁が消化融解される事が主要因と考えられ膵周囲の動脈に多いが<sup>1)</sup>，中には大血管病変を合併した症例を著者は既報してお

Haruhiko NAGAMI

長見クリニック

連絡先：〒699-1311 雲南市木次町里方633-1